

小児科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

若年性皮膚筋炎・若年性多発筋炎における筋炎特異抗体、肺病理および胸部 CT 所見の検討

[研究責任者名・所属] 山田 雅文・小児科・准教授

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 信州大学医学部小児科・小林 法元・特任准教授

[共同研究機関名・研究責任者名]

日本若年性皮膚筋炎研究グループ

聖マリアンナ医科大学リウマチ膠原病アレルギー内科	山崎 和子
東京医科歯科大学生涯免疫難病学講座	森 雅亮
KKR 札幌医療センター小児・アレルギーリウマチセンター	小林 一郎
京都府立医科大学小児科	秋岡 親司
東京女子医科大学小児科	岸 崇之
あいち小児保健医療総合センター感染免疫科	中瀬古 春奈
横浜市立大学小児科	野澤 智
鹿児島大学小児科	山崎 雄一
埼玉県立小児医療センター	佐藤 智
群馬大学小児科	西田 豊
埼玉県循環器呼吸器病センター病理部	河端 美則
神奈川県立こども医療センター放射線科	野澤久美子

[研究の目的]

この研究は、以下の3点を目的としています。

- ①急激に進行する間質性肺炎を早期に診断するための症状や検査所見を見つける、
- ②間質性肺炎の病理組織を検討し病気の成り立ちを解明することにより治療法の発見につなげる、
- ③日本の若年性皮膚筋炎および若年性多発筋炎患者さんにおける筋炎特異自己抗体と臨床的特徴の関連を明らかにする。

尚、この研究は2016年から2021年まで行われた同研究課題名の研究(北海道大学病院は2017年から2020年まで参加：自016-0382)に、新たな解析項目を加え、期間を延長して行うものです。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2005年1月1日から2017年6月30日に若年性皮膚筋炎と診断された患者さん

○利用する検体・カルテ情報

検体：同研究課題名の研究で信州大学小児科に保管されている保存検体(血液)を用いて、未検査の筋炎特異抗体(抗MDA5抗体、抗TIF1 γ 抗体、抗NXP2抗体、抗Mi-2抗体、抗ARS抗体など)やサイトカインの測定、網羅的な蛋白発現を解析します。

カルテ情報：性別、年齢、生年月、診断名、発症年齢、診断時年齢、転帰、診断に関する所見、使用薬剤、胸部CT、胸部エックス線所見、肺病理所見の情報を収集します。

この研究は、日本若年性皮膚筋炎研究グループで若年性皮膚筋炎・若年性多発筋炎の患者さんの治療を行っている機関で実施します。網羅的蛋白発現解析は、かずさDNA研究所に信州大学から検体を郵送し行われます。

カルテ情報は、匿名化され、CD-ROMに保存し、信州大学小児科に郵送で送付します。匿名化番号と診療記録番号の対応表は北海道大学小児科(個人情報管理責任者；小児科医員 竹崎俊一郎)が10年間厳重に保管します。

[研究実施期間] 実施許可日～2026年8月1日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院小児科 担当医師 竹崎 俊一郎

電話 011-706-5954 FAX 011-706-7898